

2019年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社大戸屋ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 窪田 健一
 (JASDAQ・コード2705)
 問合せ先 取締役経営企画部長 松岡 彰洋
 電 話 0422-26-2600

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）並びに2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 第2四半期連結業績予想の修正
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	40	50	10	1.38円
今回発表予想 (B)	12,300	△190	△180	△170	—
増減額 (B-A)	△700	△230	△230	△180	—
増減率 (%)	△5.4	—	—	—	—
〔ご参考〕前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	12,736	107	134	67	9.31円

2. 2020年3月期 通期連結業績予想の修正
 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,500	480	500	290	40.07円
今回発表予想 (B)	25,000	0	0	0	—
増減額 (B-A)	△2,500	△480	△500	△290	—
増減率 (%)	△9.1	△100.0	△100.0	△100.0	—
〔ご参考〕前期実績 (2019年3月期)	25,729	414	463	55	7.64円

3. 修正の理由

当社は、当第2四半期連結累計期間におきましては、新たに「もうひとつの食卓」を大戸屋ごはん処のビジョンに掲げ、4月に「もうひとつの食卓」を体現するグランドメニューの改定を行う等、国内既存店売上高の回復に取り組んでまいりました。

しかしながら、主に下記の理由により売上計画が当初の予定どおりに進まなかったことにより、売上高、利益とも期初の予想を下回りました。

- ① 4月のグランドメニュー改定による売上高が計画を下回ったこと。
- ② 国内既存店のお客様数の回復が遅れていること。
- ③ 9月に予定していた恒例の「生さんま炭火焼定食」がさんまの不漁により販売できなかったこと。
- ④ 台風等の自然災害の影響。
- ⑤ 営業時間を短縮した店舗を設けた影響。
- ⑥ 香港におけるデモの長期化により香港事業部の売上高が計画を下回ったこと。

上記により売上計画が予定どおりに進まなかった影響で利益も計画を下回ることとなりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の状況を踏まえ、国内のお客様数の回復状況等を勘案し、見直しを行った結果、通期連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上